



Neb:o

BoostPit ISOFIX

ブーストピット ISOFIX

取扱説明書

身長

保証書付き

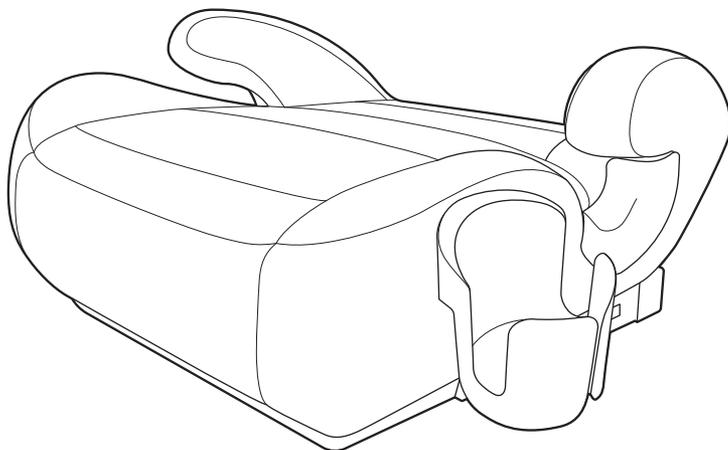
125~150cm



ISOFIX

R129/03

125~150cm



ご使用いただく前に

この度は「ジュニアシート BoostPit ISOFIX <ブーストピット ISOFIX>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。

お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

・本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/03 に適合しており、身長 125cm ~ 150cm までのお子さまを対象としたジュニアシート [ユニバーサル(汎用型)ブースタークッション] です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

・ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全ての座席に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表につきましては下記 URL から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

目次

■ご使用いただく前に	2
▪ 表示について	2
■目次	3
■安全にご使用いただくために	4
■取付けできる座席	6
■取付けできない座席	8
■シートベルトの種類と確認	9
■梱包内容	10
■各部の名称	10
■カップホルダー	
▪ 取付け方法	11
▪ 取外し方法	11
■ISOFIX の取付け方法	12
▪ チェックリスト	14
■ISOFIX の取外し方法	15
■お子さまの乗せかた	
▪ ISOFIX+車両シートベルトでの乗せかた	16
▪ お子さまを乗せる前の準備	16
▪ お子さまの乗せかた	17
▪ 走行前のチェックリスト (ISOFIX+車両シートベルト)	18
■車両シートベルトでの乗せかた	19
▪ お子さまを乗せる前の準備	19
▪ お子さまの乗せかた	20
▪ 走行前のチェックリスト (車両シートベルトのみ)	21
■シートカバー	22
▪ 取外す前の準備	22
▪ 取外し方法	22
▪ 取付け方法	22
■お手入れ	23
▪ シートカバーの洗濯方法	23
▪ 本体のお手入れ方法	23
■製品情報	24
▪ 本体サイズ	24
▪ 材質	24
■保管方法	24
■廃棄方法	24
■MEMO	25
■保証書	27

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにジュニアシートを固定できない場合は使用しないでください。
- ・お子さまがジュニアシートの上に立ち上がったり、中腰にならないよう注意してください。
- ・車両シートベルトが腰ベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを確認してください。
- ・車に取付ける際は、車両の3点式シートベルトを車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
※誤った取付け、取扱いをすると本製品の機能が十分に発揮できず、大変危険です。
- ・ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。

緊急時

緊急時は、保護者の方が車両シートベルトを外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX、車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。

注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・直射日光があたると、本体やカップホルダーが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、ジュニアシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部をさわって、熱くないことを確認してから使用してください。
- ・走行中はジュニアシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがジュニアシートをさわらないよう注意してください。
- ・ジュニアシートを通常の椅子として使用すると、転倒しけがの原因になります。本書に記載されていない使い方をしないでください。
- ・ジュニアシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないように、十分注意してください。
- ・ジュニアシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- ・お子さまだけの乗り降りにはせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- ・シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。
※衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。
- ・車両の座席に、クッションや座布団を敷いてジュニアシートを取付けないでください。ジュニアシートがしっかり固定されません。
- ・座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- ・ジュニアシートを雨風にさらさないでください。

- ・固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- ・使用歴のわからない中古のジュニアシートは絶対に使用しないでください。



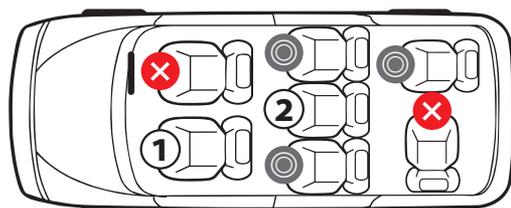
警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・ジュニアシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- ・車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けしないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・ジュニアシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。
日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。

取付けできる座席

- ・本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は「特定車両用」に分類されており、以下の座席位置に取付け可能です。



- ◎ 正しい設置位置
- ✕ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていない車に設置可能
- ② 3点式シートベルトと ISOFIX を装着している場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない車	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお奨めします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している車	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可



危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- ・ ELR 付シートベルト
- ・ ALR / ELR 付シートベルト



警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。

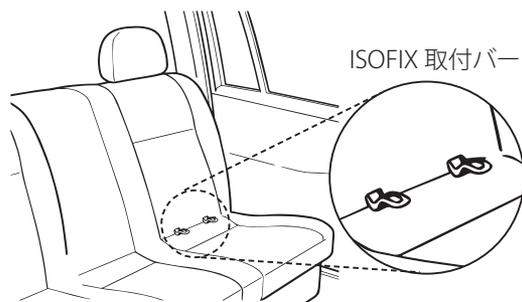


警告

- ・ 3点式シートベルトでお子さまを拘束してください。
- ・ ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。

本製品は「ユニバーサル(汎用型)ブースタークッション」に分類されており、ISOFIX 型ジュニアシートの取付けを認可された座席に取付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全ての車両に取付けられるものではありません。ご使用いただく際は、必ず車種適合表で確認してください。



本製品は UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている 3 点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。



警告

2 点式シートベルトの座席には絶対に取付けないでください。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

車種適合表一覧は適宜更新しております。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、ジュニアシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

●フロントエアバッグ装備の座席。

※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。

●進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。

●座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。

●極端なバケットシート。

※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

●シートベルトが付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

⇒車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。

●座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。

●シートベルトに損傷がある座席。

●座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント

より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



注意

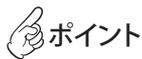
本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

シートベルトの種類と確認



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。

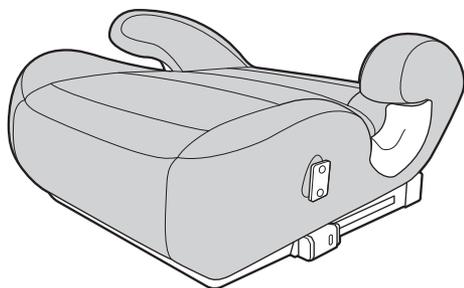
<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR/ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

梱包内容

生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、傾けるとカラカラと音がある場合がありますが、使用・構造上の安全性に問題はありません。安心してご使用ください。

本体



カップホルダー

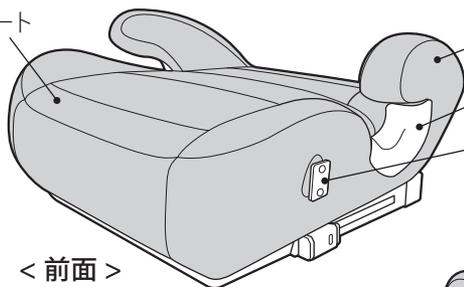


ISOFIX キャップ × 2



各部の名称

シート

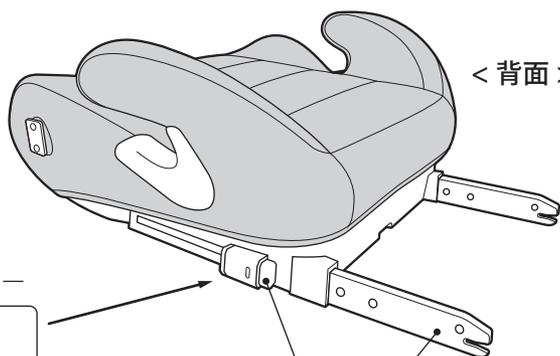


< 前面 >

アームレスト

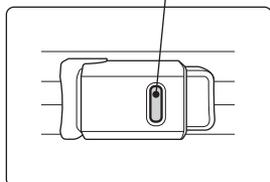
腰ベルトガイド

カップホルダーアタッチメント



< 背面 >

ISOFIX インジケーター



ISOFIX コネクターボタン

ISOFIX コネクター

カップホルダー

カップホルダーは左右どちらにも取付け可能です。



注意

カップホルダーを付けた状態で上から過度に力を加えないでください。カップホルダーとアタッチメントが破損するおそれがあります。

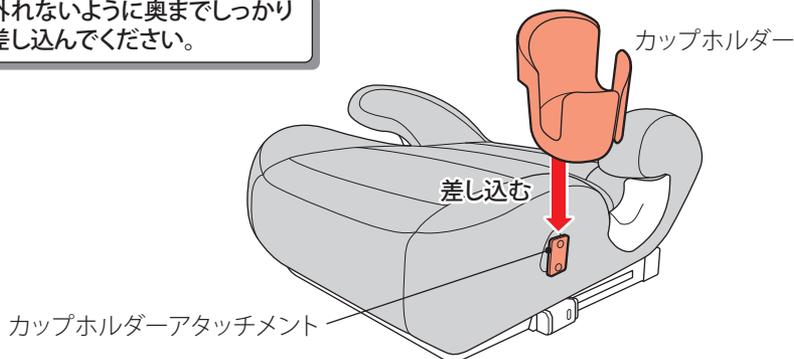
取付け方法

カップホルダーアタッチメントに、カップホルダーを上から差し込んでください。



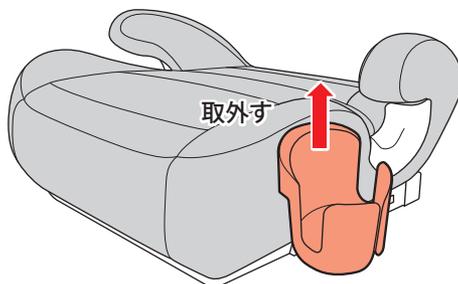
ポイント

外れないように奥までしっかり差し込んでください。



取外し方法

チャイルドシートを上から押さえ、カップホルダーを上を引き上げて取外してください。



注意

取り外す際は、必ず上方向に引き上げてください。

※それ以外の方向に力を加えると、カップホルダーやアタッチメントが破損するおそれがあります。

●500ml以上の飲み物は入れないでください。

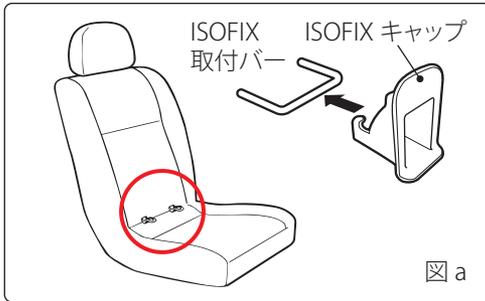
●お子さまがカップホルダーに体重をかけないようにしてください。

●カップホルダー内の飲み物が安定していることを確認し、使用してください。

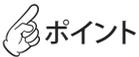
●カップホルダーに保冷・保温効果はありません。飲み物をカップホルダーに入れた状態で車内に放置した場合、飲み物が熱くなる可能性があります。

ISOFIX の取付け方法

①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください(図 a 参照)。



▶ 動画で解説
ISOFIX の
取付け方法

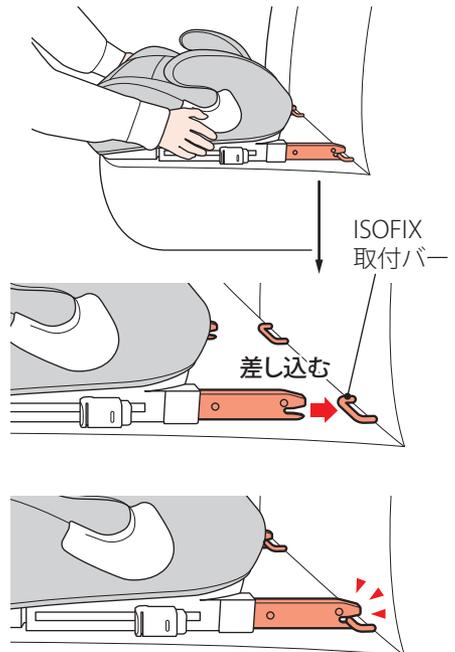
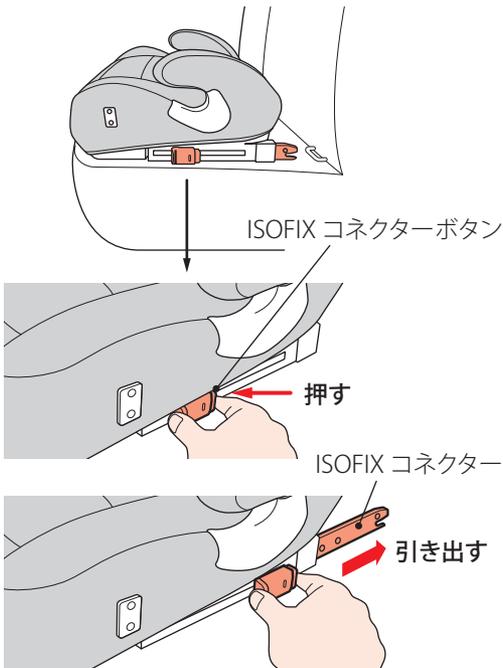


ポイント

ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用することでジュニアシートが取付けやすくなります。(図 a 参照)
※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合があります。
その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにジュニアシートを取付けてください。

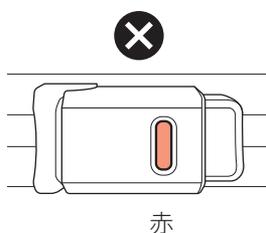
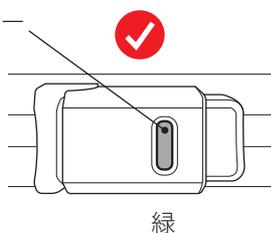
② ISOFIX コネクターボタンを押して ISOFIX コネクターを最大限まで引き出してください。

③ ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに 2 本同時に「カチッ」と音がするまで真っ直ぐ差し込んでください。



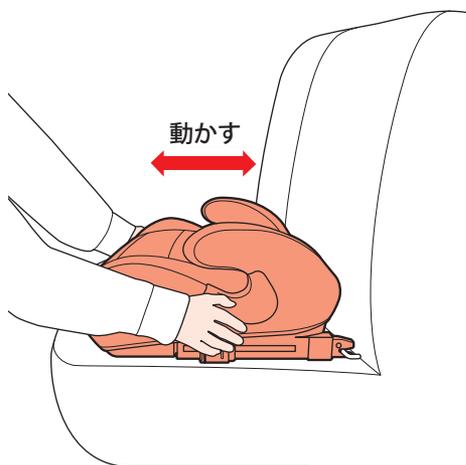
④ ISOFIX インジケーターが左右 2 本とも「緑」になっていることを確認してください。

ISOFIX インジケーター



⑤ 「カチカチカチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へ密着するようにしっかり押し込んでください。

⑥ ジュニアシート本体の左右を持ち前後に動かして、車両シートに固定されているか確認してください。



! 重要

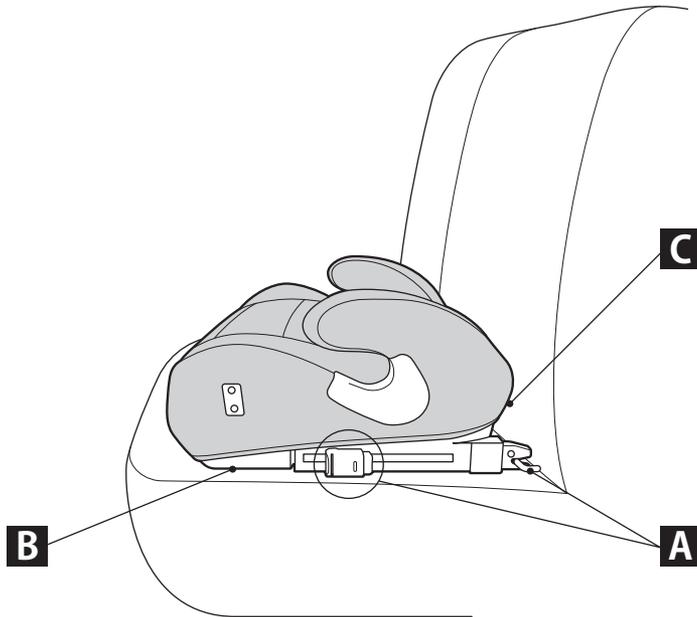
ジュニアシートの左右を持ちながら、ジュニアシート本体が車両背もたれに接するまで強く押し込んでください。※「カチカチカチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込んでください。

! 危険

安全のため、走行中お子さまが乗っていない場合も、必ず ISOFIX や車両シートベルトで固定してください。

チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

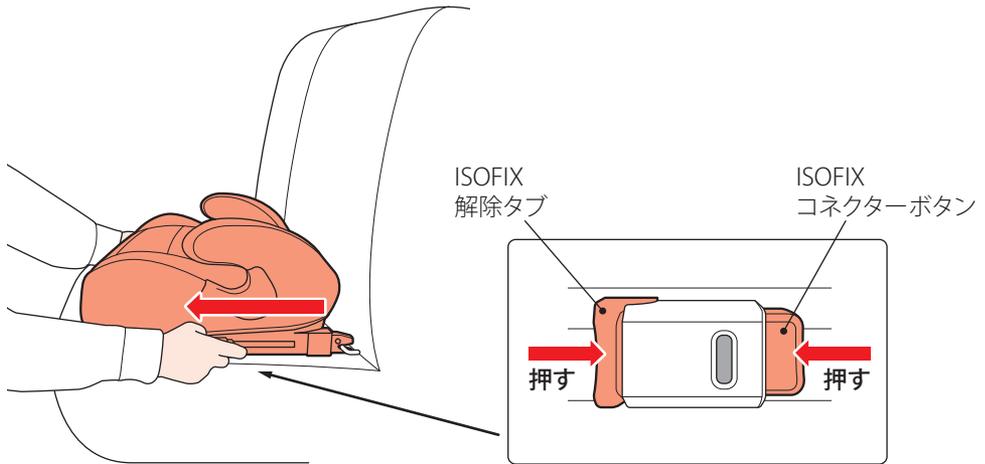
- A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが2本とも緑になっていること。
- B** ジュニアシート底面が、しっかりと座面に接していること。
- C** ジュニアシートが車両背もたれにしっかりと密着していること。

ISOFIX の取外し方法



動画で解説
ISOFIX の
取外し方法

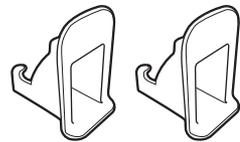
- ①左右の ISOFIX 解除タブと ISOFIX コネクターボタンを同時に押し ISOFIX コネクターを車両 ISOFIX バーから外してください。ISOFIX コネクターボタンを押しながら、本体側へスライドさせ、ISOFIX コネクターを本体に収納してください。



ポイント ISOFIX のロックが解除されると、ISOFIX のインジケーターは「赤」にか変わります。

注意

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



お子さまの乗せかた

ISOFIX+車両シートベルトでの乗せかた



▶ 動画で解説

お子さまの乗せかた
ISOFIX+車両シートベルト

使用条件

・お子さまの身長が 125cm ~ 150cm までであること。



警告

- ・本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまが座っていない場合でも、本製品は必ず ISOFIX+車両シートベルトで固定してください。※車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

①本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

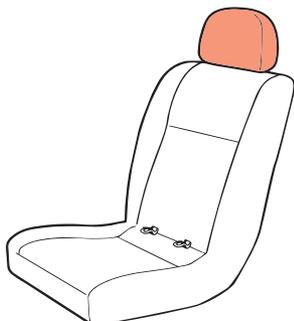
- ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P 13 参照)
- ジュニアシートが車両背もたれにしっかりと密着していること。
(ISOFIX の取付け方法 P 13 参照)

お子さまを乗せる前の準備



危険

車両ヘッドレストは最大限下げた状態で取付けてください。



□ お子さまを乗せかた

①本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

⚠ 注意

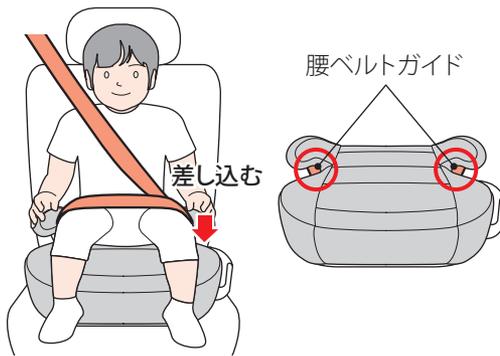
車両シートのリクライニングを倒した状態では、本製品を正しく使用することができません。車両シートのリクライニングは倒さず使用してください。※衝突などの際、十分に性能を発揮できず大変危険です。

②車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通るようにして車両バックルに差し込んでください。

※お子さまの骨盤の上に車両シートベルト（腰ベルト）を通してください。

③車両シートベルト（肩ベルト）が正しい位置にくるよう調節してください。

※車両シートベルトがねじれていないか緩んでいないか確認してください。



× 外側過ぎる ○ 正しい位置 × 内側過ぎる

⚠ 危険

車両シートベルトの位置が、「内過ぎる」「外過ぎる」箇所で使用すると衝撃を受けた際、お子さまの首を圧迫したりお子さまが車両シートベルトから飛び出し重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対にさわったり、外さないよう注意してください。

⚠ 警告

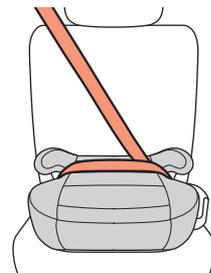
本製品を安全にご使用いただくために、お子さまを乗せる前・乗せた後は都度チェックリストを確認し、使用してください。

⚠ 注意

お子さまが自分で本製品に乗り降りできるようになっても、保護者の方など大人の監視のもとで乗り降りさせてください。

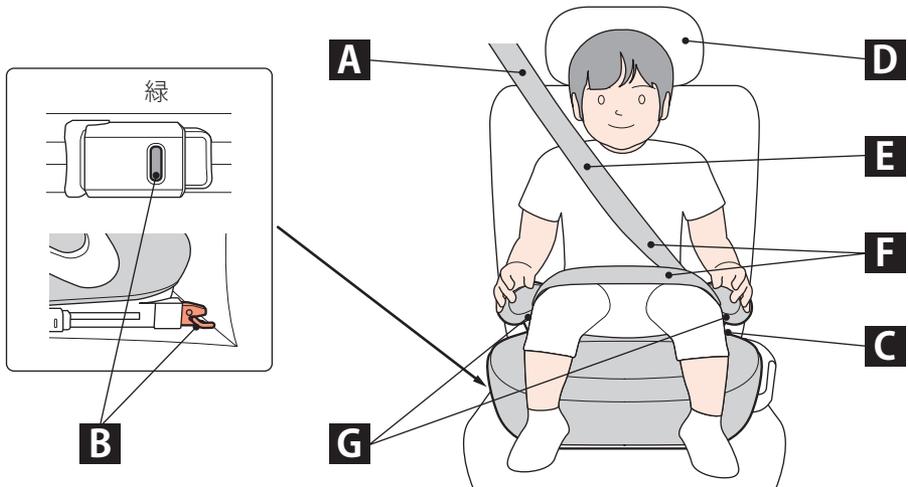
⚠ 注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品をISOFIX+車両シートベルトで固定してください。※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。※ISOFIXで固定している場合も必ず車両シートベルトでも固定してください。



走行前のチェックリスト (ISOFIX+車両シートベルト)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■

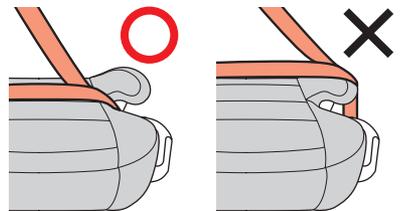


チェックリスト

- A** 車両シートベルトの ALR 機能を作動させていないこと。
- B** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケータが 2 本とも緑になっていること。
- C** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- D** 車両のヘッドレストを、最大限下げた状態で取付けていること。
- E** 肩ベルトが、正しい位置であること。P17 参照
- F** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- G** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。※お子さまの骨盤の上を通っていること。

注意

車両シートベルト (肩ベルト、腰ベルト) がアームレストの下を通っていることを確認してください。



車両シートベルトでの乗せかた



▶ 動画で解説
お子さまの乗せかた
車両シートベルト

使用条件

・お子さまの身長が 125cm ～ 150cm までであること。



警告

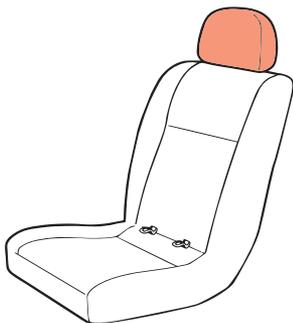
- ・本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまが座っていない場合でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。※車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまを乗せる前の準備



危険

車両ヘッドレストは最大限下げた状態で取付けてください。



お子さまを乗せかた

①本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

⚠ 注意

車両シートのリクライニングを倒した状態では、本製品を正しく使用することができません。車両シートのリクライニングは倒さず使用してください。※衝突などの際、十分に性能を発揮できず大変危険です。

②車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通るようにして車両バックルに差し込んでください。※お子さまの骨盤の上に車両シートベルト（腰ベルト）を通してください。

③車両シートベルト（肩ベルト）が正しい位置にくるよう調節してください。※車両シートベルトがねじれていないか緩んでいないか確認してください。



× 外側過ぎる ○ 正しい位置 × 内側過ぎる

⚠ 危険

車両シートベルトの位置が、「内過ぎる」「外過ぎる」箇所で使用すると衝撃を受けた際、お子さまの首を圧迫したりお子さまが車両シートベルトから飛び出し重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対にさわったり、外さないよう注意してください。

⚠ 警告

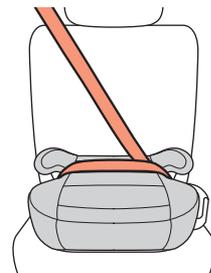
本製品を安全にご使用いただくために、お子さまを乗せる前・乗せた後は都度チェックリストを確認し、使用してください。

⚠ 注意

お子さまが自分で本製品に乗り降りできるようになっても、保護者の方など大人の監視のもとで乗り降りさせてください。

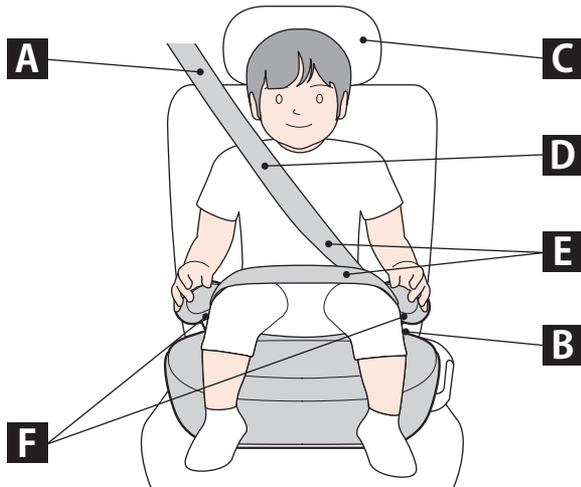
⚠ 注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



走行前のチェックリスト(車両シートベルトのみ)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■

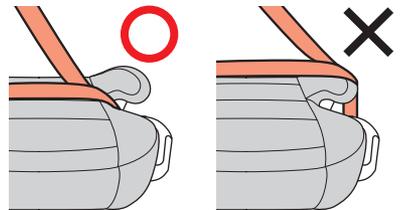


チェックリスト

- A** 車両シートベルトの ALR 機能を作動させていないこと。
- B** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- C** 車両のヘッドレストを、最大限下げた状態で取付けていること。
- D** 肩ベルトが、正しい位置であること。P20 参照
- E** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- F** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。※お子さまの骨盤の上を通っていること。

 **注意**

車両シートベルト(肩ベルト、腰ベルト)がアームレストの下を通っていることを確認してください。



シートカバー

取外し方法

取外す前の準備

カップホルダーは取外してください。

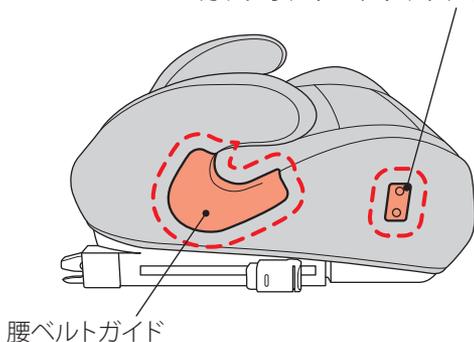


動画で解説
シートカバー
取外し方法

取外し方法

- ①カップホルダーアタッチメントのまわり、腰ベルトガイドのまわりからゆっくりカバーを取外してください。※反対側も同様に取外してください。
- ②背面側のカバーをめくり上げ、アームレストから本体前部の順にカバーを取外してください。

カップホルダーアタッチメント



注意

カバーを取外す際、無理に引っ張らないでください。カバーが破れる場合があります。



注意

取外したカップホルダーはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



動画で解説
シートカバー
取付け方法



注意

指や手を怪我しないよう注意してください。

お手入れ



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。シートカバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

シートカバーの洗濯方法

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干してください。



注意

背もたれカバー内の板は強くもみ洗いをするると破損する可能性があります。洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを痛めるおそれがあり大変危険です。

本体のお手入れ方法

- ・固くしぼった布で水ぶきしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
- ・水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。



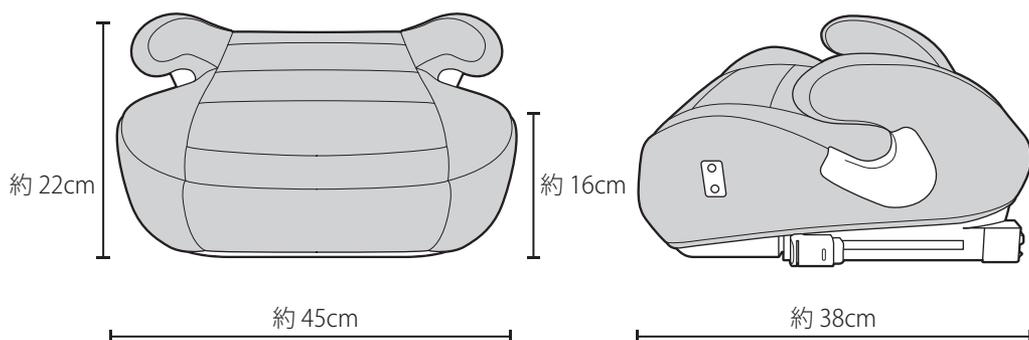
注意

発砲ウレタン部分は、強い力で拭くと、破れたり破損するおそれがあります。優しく拭き、しっかりと乾燥させてください。

製品情報

本体サイズ

幅：約 45cm
奥行：約 38cm
座面高さ：約 16.5cm
全体高さ：約 22cm



材質

本体：HDPE(高密度ポリエチレン)/PP(ポリプロピレン)/PU(ポリウレタン)
カバー：PE(ポリエステル)
カップホルダー：PP(ポリプロピレン)

保管方法

- ・安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- ・お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ・本製品に重いものを置かないでください。
- ・付属のカップホルダーも一緒に保管してください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- ・衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。